

社会新報個人版

岩手県北上市議会議員

佐藤ケイ子

活動報告

No.15



いきいき通信

発行所/社会民主党全国連合機関紙宣伝局

東京都千代田区永田町1-8-1

佐藤ケイ子後援会 岩手県北上市下江釣子16-154-3 (0197-77-2126)

平和なくして福祉なし
戦争準備より、子育て、医療、介護の充実を!

集団的自衛権

「こんなことが許されるのだろうか」と思うしまう「集団的自衛権行使」容認の問題。安倍首相は、得意げにパネルを使って、海外の紛争から逃げようとする日本人の赤ん坊と幼児、その母親を乗せた米国の艦船が敵国から攻撃を受けた場合、今の憲法解釈では自衛隊が守ることができないという説明をした。

ところが、紛争が起こった場合、軍の艦船は「敵」からの攻撃の標的になる可能性が高いため、民間の船や飛行機に輸送を要請するのが普通だという。また、避難民に化けたテロリストが乗り込んでくる可能性もあるので、艦船は民間人を乗船させないと評論家は言っている。首相はウソを平気で言っているのか。

また、「日米同盟の信頼が揺らぐ」とも言うが、日本が攻撃されないのに米軍を応援するという事は、相手国から見れば宣戦布告と同じ。そうなれば日本への反撃として、原発が攻撃されたら「日本沈没」になりかねない。日本は原発という不発弾を何十基もかかえており、戦争に巻き込まれることは絶対にさけなければならない。

集団的自衛権の危険性は「実例」を見ればよく分かる。米国のベトナム戦争や旧ソ連によるアフガニスタン侵攻など、大国が中小国支援を名目に内戦へ軍事介入するケースが大半だ。戦争の「口実」として乱用されてきた負の歴史は重い。イラク戦争は大量破壊兵器という誤った情報に基づいて始まった。日本が同様の正義なき戦争に巻き込まれることはない、と誰が断言できるだろう。

そもそも、憲法9条で「海外での武力行使はしない」と決めている。集団的自衛権は行使できないと歴代内閣が長年積み上げてきた憲法解釈を、時の権力者が好き勝手に変えるなら、独裁国家と同じではないか。

昔「なぜ日本は戦争にむかったのか」に対して、「いつのまにか反対できなくなった」という事だが、同じ過ちを繰り返すようなことがあってはならない。

政治の役割は、戦争をさせないためにあるはずだが、今の政権はその逆を向いている。国民が望んでいるのは、働き続け、医療・介護・子育てが充実し、安心して暮らせる平和な社会である。

何とかして、安倍政権の「戦争のできる国づくり」の流れをストップさせたいと思う日々である。

暑気払いにみんなで 生ビールを飲もう!

毎年好評の佐藤ケイ子を囲む



納涼パーティー

とき 7月24日(木) 午後6時30分

ところ 江釣子地区交流センター(大ホール)

会費 男性 2,000円・女性 1,000円

～歌・踊り・抽選会あり・とび入り歓迎～

誰でも入場できます。お誘いあわせの上ご参加願います。

後援会総会は、午後6時～です。

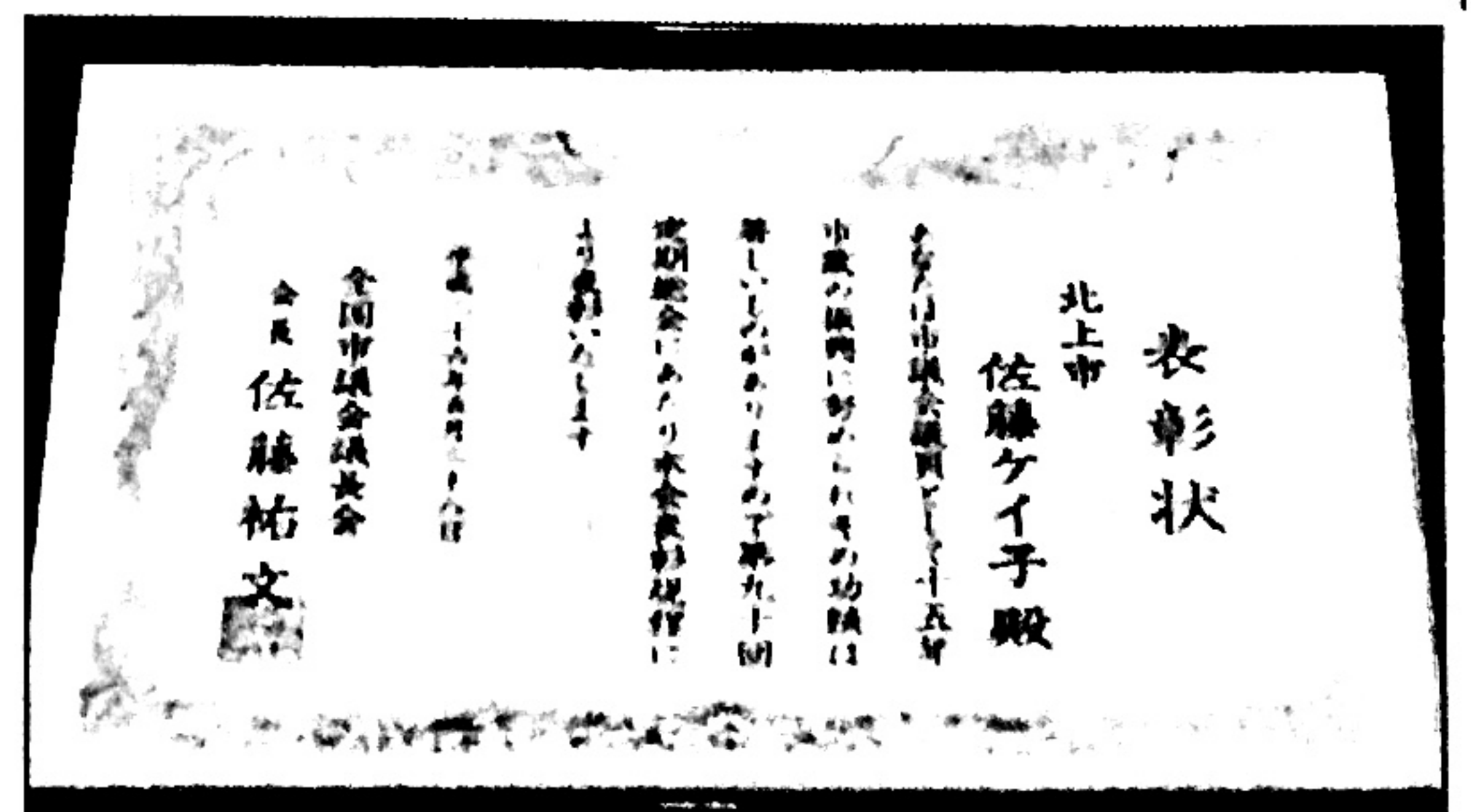


全国市議会議長会表彰

議員経験15年の賞状をいただきました

在職期間10年、以後5年毎に全国市議会から表彰されることになっています。今回北上市議会では、10年在職が7名、15年在職が1名で、賞状と議員バッジが授与されました。

賞状には、「15年市政の振興に努められその功績は著しいものが・・・」とありますが、特段の功績はないものの、今後も謙虚に、そして積極的に活動しなければ・・・と再認識しています。



市議会一般質問

- ・行政責任を明確に…
- ・地域計画の前進を…
- ・市民満足度向上を…



平成 25 年 9 月議会

外部評価の指摘に対し、早期対応を…

24年度は自治振興公社(ふるさと体験館管理)、文化創造(さくらホール管理)、体育協会(陸上競技場ほか管理)について、大学教授等による外部評価を実施したが、市の関与のあり方に指摘があり、指定管理者制度の課題が表面化している。

① 各施設の老朽化対策の明確化を

答弁 ふるさと体験館は、浴槽や外壁、屋根等の改修や設備の長寿命化計画を策定する。

さくらホールは、10周年を迎え修繕や設備更新の必要があり、7億円を超える試算もある。インフラ資産マネジメントで調整し実施していく。

体育協会からは、9施設45項目の改修要望があり、国体に向けて7項目を着手している。今後も危険箇所から改修する。



② 指定管理期間の契約変更を

答弁 公募は5年、非公募は検証のため3年の契約だったが、人材育成や設備投資のリスクがあるため、5年を基本に契約する。

平成 25 年 12 月議会

(1) 各自治協からの地域計画の前進を…

答弁 16地区からの地域要望の内、A(実施に向け検討)は、昨年94件だったが、見直しにより97件となった。前期5年で63件の実施予定である。江釣子地区の要望である和野踏切の拡幅は、1億2千万円の確保が課題。小学校周辺通学路のカラー舗装や標識等の対応をする。

(2) 特養ホーム待機者増加への対応は…

答弁 25年3月末現在で早期に入所必要な要介護者は76人で、昨年同期より23人増加。特養ホーム98人増床の計画だったが、諸般の事情により78人の整備となり課題である。



(3) 介護保険制度改正にどう対応するか…

答弁 要支援1と2の訪問介護と通所介護を市町村事業に移行させると、約540人の利用者が現在のサービスが受けられるか心配される。平成29年の移行までに体制を整える。

特養ホーム待機者の中で要介護2以下は124人であり、原則的には入所困難になる。

団塊の世代が75才を迎える2025年までに、地域包括ケアシステムの整備を完了させることとなっている。地域包括支援センターを中核に、

「地域ケア会議」を立ち上げ、意見交換を始めたところである。

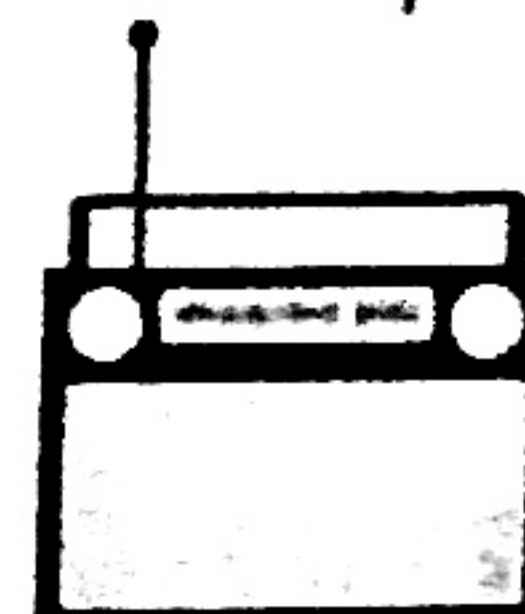
未婚のひとり親にも公平なサービスを…

答弁 ひとり親家庭にも「みなし寡婦控除」の適用を検討し、保育料の軽減を実施していく。

平成 26 年 3 月議会 (代表質問)

(1) コミュニティFM断念を…

- ・全国のコミュニティFM局の大半が赤字で、行政の支援無しでは運営できない。昨年の説明では放送委託料は無いと言っていたが、事業予定者は委託料を前提にしている。支援のガイドラインもなく、継続的な財政支出は市民理解が得られない。
- ・25年度の調査費2100万円は繰越明許となり未調査の段階である。26年度の整備費8,953万円の積算根拠は妥当か。
- ・昨年の説明では、北上ケーブルテレビは運営事業者になれないと説明していたが、なぜ第一候補者になったのか。会社支援との憶測を呼ぶのは、双方にとって不幸な事ではないか。
- ・スポンサー確保、市民の盛り上がり、採算性、持続性、ラジオ聴取率など不確定要素が多すぎる。



コミュニティFM整備予算8,953万円を削除する修正案が出され、13対12で修正案を可決した。

(2) 健全な財政運営を…

平成24年度から実施している税率アップの影響はどうか。起債(借金)の繰上償還を優先し、7年間の増税を短縮できないか。

答弁 法人市民税と固定資産税の税率アップ分の税収は、24年度は約6億円、25年度見込は約5億5500万円である。

実質公債費比率が平成27年度から高水準で推移するため、30年度に18.5%(イエローカード)になるおそれがある。26年度から繰上償還を実施し回避していく。税率アップの期間短縮は難しい。

(3) 市民満足度向上を…

除雪は市民満足度が低い。改善を。

答弁 除排雪の出動基準を見直し、こまめな除排雪を行ったが、苦情は減らない。先進自治体を調査し、全庁的な雪対策本部を検討していく。雪寒指定の国指定を受けたので、2/3の交付金に期待し、除排雪の拡充強化を検討する。



(4) 地域福祉計画の主体性を…

ボランティアや地域の支えあい強調され、行政の姿が見えないのではないか。福祉の専門職は充足しているのか。コミュニティソーシャルワーカー(CSW)の配置計画はどうか。

答弁 住み慣れた地域で安心して生活できる社会を実現するため、市民と行政の連携が大切である。専門職は基準を満たしているが、更に研修していく。CSWは、平成30年度までに社会福祉協議会に4人を配置する予定である。

活動あれこれ

ブログつまみぐい

ホームページやフェイスブックで活動を紹介しています

<http://www.sato2007.com>

6月7日 久慈市へ行ってきました

今年の江釣子婦人会の移動研修は、復興支援の意味もあり、昨年の朝ドラ「海女ちゃん」で話題になった久慈市に行きました。

久慈では「琥珀記念館」や「まちなか水族館」に立ち寄り、三陸鉄道に初乗車。お座敷列車は予約が取れなかったけど、連結されているレトロ列車に乗ることができ大満足でした。私たちは、久慈から野田玉川駅まで乗り、国民宿舎「えぼし荘」で、海の幸をおいしく頂きました。

昼食後、施設の方から3年前の3・11津波の状況などを話して頂きました。復興も遅れており、なかなか難しいものだと思いました。



5月21日「市民と議会をつなぐ会」

議員が4班に分かれて4日間、16地区で開催している議会報告会&意見交換会。3日目は江釣子地区に伺いました。40人以上の参加で活発な意見交換でした。

3月議会でコミュニティーFM予算を削減修正させたことについては、議会の判断を評価するという意見が大半でしたが、さらに情報手段の研究や自主防災組織に力を入れるべき…等、多くの意見を頂きました。

また、人口定住化対策、生産基盤整備をすべきなど国の政策に及ぶような意見や、地域活性化に一生懸命活動しているが、地域で勝手に頑張れという雰囲気だ。北上市として強い指導力を持ってほしいという意見なども出されました。とても有意義な意見交換会でした。



4月6日(日) 江釣子神社火防祭

江釣子神社春の例大祭が行われ、我が江釣子3区でも山車を運行しました。天気は陽がさしたり吹雪になったりの不安定な日となり参加者は大変でした。

山車運行は、地区民総出の一大行事で、小太鼓の小学生低学年、大黒舞の男子、手踊りの女性部、山車運行の男性群、昼食や反省会の食事係など老若男女の協力が結集しました。

踊りは3曲練習し披露しました。



2月8日(土) 北上市職労自治研集会

今回のテーマは「指定管理者制度を考える」。自治研推進委員会から市長への提言書の報告に続き、指定管理施設で働く立場の二人から発表がありました。

交流センター職員は一所懸命働いているが、業務量が多く、市と自治協と自治会の役割分担の問題や、人材育成の問題なども出されました。

また、ふるさと体験館では、指定管理の契約期間による雇用不安のため、臨時職員で対応せざるを得ないこと、低賃金、不安定雇用の問題、修繕費捻出の難しさなど課題が出されました。

コスト優先の委託が、そこに働く人達の労働環境に

大きく影響しており、改善の必要性を再認識しました。



2月3日~4日 地方財政セミナー(東京)

地方議員や自治体職員など約450人が参加。アベノミクス問題、消費税増税、税制改正、社会保障のあり方、地方財政計画、夕張市の現状など2日間の講義でした。

2014年度の国家予算は、95兆8823億円(内税収50兆円、消費税増税分4兆5350億円)で、消費税増税で国民に痛みを求める一方で、社会保障の自然増が削減され、公共事業・防衛費が増額となった。歳出の膨張に歯止めがかからず、社会保障充実にも財政再建にも役立っていない予算である。

11月14日~15日 いわて自治研センター復興視察

大船渡の仮設住宅では、「説明会を何回開いても解決しない」「役所は住民の声を聞かず、国の基準に従うだけ」「全国からの派遣職員で頑張ってもらっているが、地元(人も地理も)を知らず権限も無い」と、次々にいらだちの声が上がりました。

自治研センターとして、県知事に政策要望を出すので、被災者のニーズ把握や事業の加速度的推進等、被災者の声を知事に届けることになりました。

翌日は、釜石の鶴住居防災センターの悲惨な状況、宮古市田老のホテルや決壊した防波堤などを見ながら、復興までの難しさを感じました。

ただ救いだったのは、原発施設がなくて本当に良かったということ。30数年前の労働者・漁協・社会党の運動の成果を再認識しました。

(震災遺構の田老観光ホテル)



北上市と石垣市の

友好都市提携締結式に参加して

1月24日花巻空港からのチャーター便で、友好都市締結関係者、石垣マラソン参加者、観光参加者、約140名が石垣島に行きました。

石垣市の公園には、高橋洋介氏と菅原邦典氏の石碑があり、20年前の大冷害における種もみ緊急増殖事業の成果が語り継がれていることを知りました。

2日目の午前中は島内を周遊。島の中心部はホテルも多く観光の町でしたが、島全体はさとうきび畑と牧草が中心で、水田は限られていました。

午後から、友好都市提携締結式が市民会館中ホールで行なわれ、両市が交流を深めていく事を確認し、岩崎鬼剣舞も披露されました。

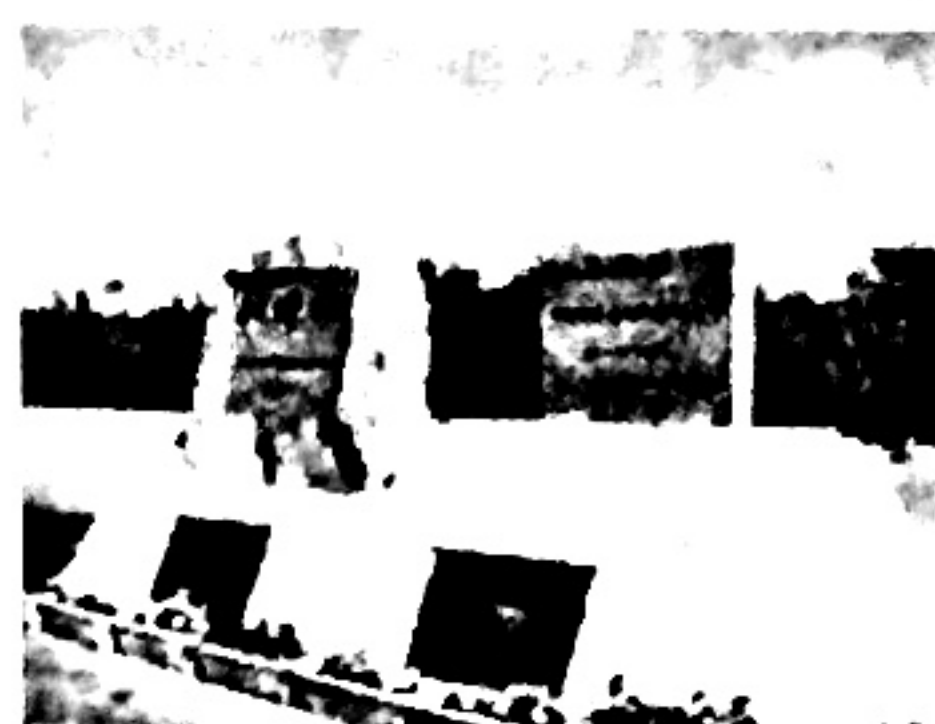
3日目は石垣島マラソンが開会され、約4250人が10km・23km・

フルマラソンに参加。岩手からも北上市長も含め、45人が参加しました。北上マラソンは2000数百人ということですから、だいぶ規模が違います。石垣市は友好都市姉妹都市が多く、石垣市長をはじめ周辺の市町村長さんも参加していました。陸上競技場周辺では、物産市や石垣牛まつりも開かれ、大変な賑わいでした。

夜は岩手からの参加者140人と石垣市の各種団体の皆さんとの交流会が行われ、石垣市の伝統芸能や八重山高校の民俗芸能が披露されました。

東日本大震災では、「石垣・岩手かけはし交流会」が義援金を集め、岩手応援ツアーを企画、北上マラソンにも出場したという事です。

友好都市締結を機に、今後も多彩な交流を期待したいものです。



佐藤ケイ子 プロフィール

1956年生まれ、黒沢尻北高、東京経済大学短期大学部卒

1977年(昭和52)4月 江釣子村役場入職

1999年(平成11)3月 北上市役所退職

4月 北上市議選補選当選

2000年3月再選、2004年3月再選、2008年3月再選

2012年(平成24)3月再選

——おもな役職——

北上市議会議員

議会運営委員会委員、総務常任委員会委員、

議会改革推進会議副委員長、北上地区広域行政組合議員

社民クラブ会派代表

社民党北上支部幹事長、北上市職労自治研研究員、北上市婦協会計(江釣子支部監事)、江釣子地区自治振興協議会顧問、(公財)江釣子福祉基金理事、江釣子学童保育所顧問、三陸復興応援団北上会員

戦争をさせない!

県民総決起集会 in 北上

安倍政権は、閣議決定で憲法解釈を変更して集団的自衛権行使を容認させ、戦争参加を可能にしようとしています。

この動きに危機感を感じた作家の大江健三郎さん(ノーベル賞作家)などの呼びかけによって「戦争をさせない1000人委員会」が結成され、岩手でも「戦争をさせない岩手県委員会」が発足しています。

政府が憲法9条を空文化させ、戦争準備を進めようとしていることに、岩手北上からも反対の声を上げましょう。皆さんの参加をお願いします。

日時 7月5日(土)13:30~
(13:15~オープニング)

場所 黒沢尻体育館

講師 さたか まこと
佐高 信(評論家)

北原みのり(文筆家)

デモ行進あり、フラード、鳴り物歓迎



何が秘密になるのか?
それも秘密です。
秘密は私が決めます。
国民のみなさんには
秘密なので教えません。



おすすめ映画鑑賞

北上市婦協映画会「奇跡のリンゴ」

それは、妻への愛でした。

絶対に見るべし!!

絶対不可能と言われていた無農薬リンゴに挑んだ家族の感動実話です。失敗、極貧、苦闘、絶望の果てに、常識をくつがえす奇跡の発見。

日時 7月20日(日)(2回上映)
14:00・18:00

場所 さくらホール(大ホール)

入場料 大人1000円、
高校生以下500円

(当日券:大人1,300円、高校生以下700円)



北上市婦協は、毎年映画会を開催しています。この収益金の一部は、北上市社会福祉協議会に寄付されます。どうぞ協力をお願いします。

ともに活動し、声をひろい、 政策へ!!

働く仲間と、女性団体と、地域と、
ボランティア団体と、あなたとともに...
ブログ、フェイスブックなどで情報を発信しています。

